

# 地震

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

### 地震発生

1~2分

#### 最初の大きな揺れは約1分間

- ◆頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する。
- ◆あわてて外へ飛び出さない。
- ◆大きな揺れの場合は、揺れがおさまってから火の始末をする。



#### 揺れがおさまったら

- ◆火元を確認 火が出たら、落ちていて初期消火。
- ◆家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
- ◆靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
- ◆避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等
- ◆仕事やレジャーで海岸部に滞在している場合、直ちに高台へ避難。



3分

#### 隣近所に声をかけよう

- ◆災害弱者の安全確保 隣近所で助け合う。
- ◆行方不明者はいないか。
- ◆ケガ人はいないか。

#### 出火防止 初期消火

- ◆初期消火 消火器を使う バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく。
- ◆漏電・ガス漏れに注意。
- ◆電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める。
- ◆余震に注意。

5分

#### ラジオなどで正しい情報を得る

- ◆大声で知らせる。
- ◆救出・救護を。
- ◆防災機関、自主防災組織の情報を確認。
- ◆デマにまどわされないように。
- ◆避難時に車は極力使用しない。
- ◆電話は緊急連絡を優先する。



10分

数時間

3日

#### 協力して消火活動、救出・救護活動

- ◆水、食料は蓄えているものでまかなう。3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく。
- ◆災害・被害情報の収集。
- ◆無理はやめよう。
- ◆助け合いの心が大切。
- ◆壊れた家に入らない。



### 屋内にいた場合

#### 家の中

- ◆揺れを感じたら、身の安全を確保し、揺れがおさまった後に、窓や戸を開け、出口を確保する。
- ◆火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- ◆乳幼児や病人、高齢者など災害弱者の安全を確保する。
- ◆裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

#### 集合住宅

- ◆ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

#### 劇場・ホール

- ◆カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- ◆あわてずに冷静な行動をとる。



### 屋外にいた場合

#### 路上

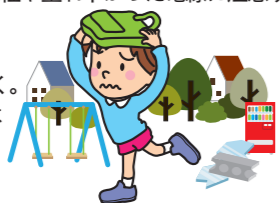
- ◆その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ◆近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ◆ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- ◆倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

#### 車を運転中

- ◆ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- ◆揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- ◆避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

#### 海岸付近

- ◆高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。



#### 電車などの車内

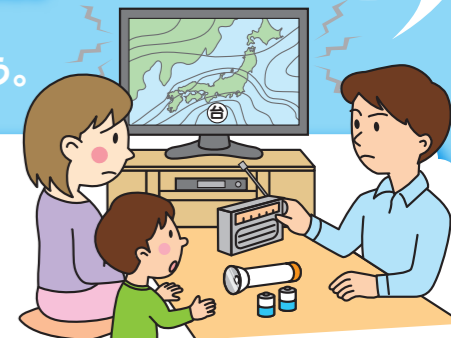
- ◆つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- ◆途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- ◆乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



# 風水害・台風

まずは、確実な情報が大事  
その次に迅速な対応

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



## 大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

### 大雨注意報

大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

### 大雨警報

大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

### 大雨特別警報

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合に発表

■記録的短時間大雨情報とは・・・数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を観測したり、解析したりしたときに、各地の気象台が発表します。熊本県区域の発表基準は、1時間雨量110mmとなっています。

### 雨の強さと降り方

時間雨量 (mm)	10 以上～20 未満	20 以上～30 未満	30 以上～50 未満	50 以上～80 未満	80 以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

### 風の強さと吹き方

平均風速 (m/秒)	10 以上～15 未満	15 以上～20 未満	20 以上～25 未満	25 以上～30 未満	30 以上～
予報用語	やや強い風	強い風	非常に強い風		猛烈な風
人への影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	何かにつかまっていようと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。		屋外での行動は極めて危険。

### 台風の大きさと強さ

台風は、毎年のように日本に襲来し、きわめて大きな災害をもたらすことがあります。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速 15m/秒 以上の半径	強さ	最大風速
大型 (大きい)	500km 以上～800km 未満	強い	33m/秒 以上～44m/秒 未満
超大型 (非常に大きい)	800km 以上	非常に強い	44m/秒 以上～54m/秒 未満
		猛烈な	54m/秒 以上

### 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ◆ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- ◆町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- ◆停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- ◆非常時持出品を準備しておく。
- ◆早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- ◆飲料水や食料を数日分確保しておく。
- ◆浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- ◆危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、注意しておきましょう！

### 地下道(アンダーパス)にも注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になりますので注意が必要です。

